

# 友 窓

## 片貝中学校同窓会会報 第13号 2013年1月

片貝中学校 ☎ 0258(84)2030  
 ☎ 0258(84)3880  
<http://www.city.ojiya.niigata.jp/katachu/>  
 (中学校HP)  
<http://www.katachu.com> (同窓会HP)  
 E-mail katachu@city.ojiya.niigata.jp



集え 同窓会  
同窓会会長 安達 隆



感謝の気持ちを込めて  
片貝中学校長 清水 千治

私達、同窓会も平成24年春に第65回の卒業生の人達に仲間に入って頂きました。

昨今、少子化の影響で片貝中学校の生徒数も激減で祭りの形態や同窓会主催の球技大会にも影響が出ております。

同窓会規約にも謳っておりますが、同窓会相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると言う条文があります。若くは人達の在町者が少なくコミュニケーションがとれず意見の言える場所も少ないように感じられます。

会の活性化が私達役員の手であります。どうしたら同窓生の皆様から母校に愛着と関心を持ってもらい同窓会活動を支えて貰えるかということです。

同窓祭など一般市民が参加できるイベントもあります。片貝祭のありかたや成人戦の意見交換もやっております。是非皆様方から地域の活性化に関わってほしいものです。

年齢や職業や環境が異なっている仲間たちが集う会です。今後ともご意見、御協力よろしくお願い申し上げます。

片貝中学校に勤務して、片貝町における同窓会の役割、組織伝統など、驚かされるばかりでした。また、私が今までに勤務した学校で、学校と同窓会がどのように固く結び付いている学校はありませんでした。本当にありがたく存じます。

体育館に掲げられた同級会の名称、片貝まつりなどで目にする年代ごとの約束事と役割、東京片貝会・母校を励ます会の応援、同窓会球技大会や教育講演会など、それらが一体となって生徒たちの心に深く根付き、これから生きていく人生の一つの指針となっていることを感じます。

また、同窓会を母体としたつながりの中で、生徒たちは、たくさんの人たちとかわり、様々なことを学んでいます。幸せなことだと思います。

何度も話し合い、悩んだ末に、今年度の卒業生の学年の名称が『結虹会(ゆいこうかい)』と決まりました。卒業生たちには、『結虹会』を大事に育ててほしいと思います。応援をよろしく願います。

### 新入会員 愛陽会

あいようかい  
第六十五回卒  
渡部 貴也

僕達の級友会名は「愛陽会」です。たいよう学年は男女の壁がなく学年全体仲が良い学年です。この仲の良さは高校そして大人になっても一生続くはずです。

「愛陽会」という級友会名には「たいよう学年のことをずっと愛していた」という思いが込められています。また、たいよう学年ということ、太陽の「陽」という字を使いました。

これからも母校片貝中学校で学んできたことに自信と誇りを持ち、全員で級友会名を大切に、誇れる会にしたいです。愛陽会の仲間と共に成長していきたいです。



### 同窓会役員名簿

名譽会長	清水 千治	中学校校長
会長	安達 隆	にじ会
副会長	安部 恒	双葉会
副会長	久賀 透	ささなみ会
学校事務局	岩崎 真	中学校教頭
事務局長	小野塚 祐一	翼進会
副事務局長	本田 和憲	鳳凰会
副事務局長	堀沢 直樹	飛翔会
事務局	石上 勉	西戌会
	佐藤 正敏	双葉会
	吉原 裕二	みつわ会
	浅田 浩幸	実生会
	吉井 正人	友心会
	五十嵐 秋男	成友会
	神林 俊之	一心会
	鈴木 俊之	一心会
	相崎 秀人	鳳凰会
	吉原 正明	鳳凰会
	佐藤 圭三	飛翔会
	安達 勇二郎	愛星会
	千葉 良子	ささなみ会
	友田 子	平成会
	芝田 雪絵	飛翔会
	安達 淳	恒暉会
	吉井 守	福寿会
	安達 隆	みつわ会
	文隆	翼進会
	光夫	一心会
	博光	愛郷会
	陽平	翠心会
	浅田 平	ささなみ会
	浅田 光	翼翔会
	高野 卓美	
	佐藤 智之	
	山口 拓朗	

幹事 会計監査

### 同窓祭を振り返って

第二十二回同窓祭実行委員長  
実生会 安達 直人

新年あけましておめでとうございませう。

今回の第二十二回同窓祭は、実生会と輝龍会の二学年の主催で開催させて頂きました。

昨年一月に、前学年より引き継ぎをし、当時は何をどうすれば良いのか全く分からず不安だらけでしたが、同窓会の役員の皆様そして実生会、輝龍会の会員の皆さんの協力を頂き、何度も打合せをして無事に当日を迎えることが出来ました。

当日の講演は、私達実生会の会員で長岡市在住の安達カイロ



プラクティックオフィスの安達篤さんを講師に招き「肩こり・腰痛の原因と症状別の対処法」と題して話をしてもらいました。安達篤さんは、明治鍼灸大学を卒業後、カイロプラクティック治療院で臨床経験を修め、平成四年から開業し、現在は長岡市で唯一鍼灸の資格を持ったベテランの治療師で地域の方々の健康増進のために日夜活躍されています。来賓の皆様・各同級会の皆様をはじめ一般の聴講者の方からも沢山お集まり頂きました。肩こり・腰痛・ひざの痛みを軽くする方法や痛みの原因と症状別の対処法を簡易ベッドを使い、実演を取り入れながらの解り易い説明でした。皆さんが日頃役に立つお話を、喜んで頂



くことが出来たと思います。第二十二回同窓祭を振り返って、講師の安達篤さんをはじめ実生会の同級生が準備から運営・後片付けまで協力してもらいました。当日は町外の会員にも沢山集まって頂き改めて同級生の繋がりの深さを感じました。また、十二学年下の輝龍会の皆さんとも親睦を深められました。普段は会う機会が無い人達と出会えたことをうれしく思います。私自身も同窓祭実行委員長を務めさせて頂き、生涯の大きな経験になりました。

最後に：

今回の同窓祭を無事に終えられた事に感謝すると共に皆様にとって本年も良い一年となります様お祈り申し上げます。



### 東京片貝会

東京片貝会教育講演会  
恒友会会長 小宮 文男

新年、明けましておめでとうございませう。

昨年の秋季大祭におきまして、町民の皆様から心暖まるご声援大変ありがとうございました。お陰様で、いい天気、いい花火で、いい祭り、そして会員の「いい顔」を観ることができました。感謝しております。

さて、教育講演会が開催され、今年は私たち恒友会に講師依頼



がありました。講師には新潟県警の安達勝己さんをお願いして、警察官の道を選んだ話や経験を中学生や小学生高学年の前で話をさせていただきました。私の娘も中学生で、「講演は楽しかった。」と言っておりました。講演終了後、級友と酒を酌み交わしている時に、「講演経験はあるが、今回は難しかった。」と言っていました。大人でもない、子供でもない相手に一つのテーマで長時間話をすることの難しさを痛感しました。自分だったら何を話せばいいのだろうか？と、今回の講演会で講師共々良い経験ができたことを、東京片貝会関係者の皆様に感謝します。



### わが同級会 紹介

成人を迎えるにあたって  
晴笑会会長 佐藤 瑞穂

新年、明けましておめでとうございませう。私達晴笑会は会員三十八名という、最も少人数の成人です。しかしそれはハンデではなく、むしろ特別な結びつきとして、私達の強みであると思っております。九月十日、全員が晴れやかな笑顔で花火を見られるよう、地元に残る者も県外に飛び出した者も、全員が一致団結してやって参ります。

小さな「たけのこ」も今や立派な竹となり、重ねた節々は天高く、成人の花火にあと少しで届くところまで来ました。この一年、地域の方々や先輩方、保護者の皆様にはご迷惑をおかけするかと思います。ご指導よろしくお祈り致します。

三十三歳厄年を迎えるにあたって  
嚙聖会会長 黒崎 美江子

新年、明けましておめでとうございませう。私たち「嚙聖会」は片貝中学校第五十回卒業生です。嚙聖会とは、小学校の時に「山ぼと学年」だったことから、鳥の鳴き声のように、いつまでも清らかな気持ちを持ち続けるようにという意味で命名されました。あつという間に三十三歳厄年を迎え、月日が経つのは早いものだと感じます。

私たちの会は、女性が多く、にぎやかであり、会員一人一人の個性が強いですが、行事等でのまとまりは良いです。今回の記念行事でも、全会員が一つにまとまり、素晴らしい秋季大祭にしたいと思っております。

町民の皆様のご支援、ご声援、そしてご指導よろしくお祈り致します。今年一年、町民の皆様にとって素晴らしい年になりますよう、お祈り申し上げます。

四十二歳厄年を迎えて  
鳳凰会会長 大矢 弘光

謹んで新春のお慶びを申し上げます。片貝中学校第四十回卒業の私達「鳳凰会」は、この度四十二歳厄年を迎えることとなりました。

これから行われる多くの記念行事を前に、あらためて伝統ある片貝を築き上げ守り続けている諸先輩方、町民の皆様方に深く感謝申し上げます。また、旧友や恩師に再会できる喜びに加え、これからの片貝を共に支え、創り上げてゆくこととなる多くの新たな友を新規会員として迎え入れることができることに感謝します。

片貝町がもっと元気で楽しくなるよう、鳳凰会会員一同頑張つてまいります。今後とも温かいご声援を宜しくお願い致します。

最後になりますが、同窓会会員の皆様、並びに片貝町民の皆様にとつて本年が幸多き一年となりませう、鳳凰会一同心よりお祈り申し上げます。

五十歳を迎えるにあたって  
緑翼会会長 安達 武夫

新年、明けましておめでとうございませう。私達「緑翼会」は片貝中学校第三十二回卒業生です。会の名前の由来ですが三十二回卒業のゴロ合わせで

三→さん→み→みどり→緑  
二→に→つ→つばさ→翼  
それで緑翼会です。簡単につけた名前ですが、成人、三十三歳の時は、祭屋台上に緑の折り鶴をデザインし、四十二歳の時は緑の動く天使？の羽を作り私達なりに愉しみました。

今年も記念行事として片貝祭りに参加させて頂いたのですが、各地から集まる仲間や恩師との再会と新たな思い出作りのために地元を会員を中心に準備を進めていきたいと思っております。

片貝町の益々の発展と、伝統ある片貝まつりが少人数の私達の子供世代へ受け継いでいけるように会員一同、微力ではありますが、お手伝い出来ればと考えております。

最後になりますが町民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

還暦を迎えるにあたって  
にし会 小宮 和弥

新年明けましておめでとうございませう。私達「にし会」は、片貝中学校二十二回卒業で現在一〇八名の会員が今年の還暦行事を迎えます。会の名称は「二次会」と間違えられやすいのですが私達が二十二回卒業ということに由来しています。マイペースで個人的な会員が多い様に思いますが、こころ一番という時には、不思議に会員一同心一つにできる素晴らしい仲間達です。

そろそろ秋季大祭に向けての準備が始まっていますが、今回も工夫をこらした屋台を製作中で、秋季大祭には町民の皆様にお披露目できると思っております。

還暦を迎えるにあたり、諸先輩方が築きあげた伝統を守りつづ、「にし会」らしさを出せる様に会員一同頑張ってお祭りを盛り上げたいと思っております。

町民の皆様方のご指導ご協力を宜しくお願いいたします。最後に、町民の皆様にとつて幸多い年になりますよう心からお祈り申し上げます。



# 同窓会行事報告

平成24年

1月10日 同窓会会報「窓友」

第12号発行

1月20日 同窓祭当番幹事引継ぎ会

さざなみ会、翼翔会↓実生会、輝龍会

2月29日

第65回卒業生（愛陽会）同窓会入会式

先輩激励の言葉 大塚謙児氏（翠心会）  
卒業生木遣指導 片貝伝統芸能保存会

3月5日

片貝中学校卒業式

4月6日 片貝中学校入学式

4月27日 片貝中学校教職員歓迎会

5月20日 中越親善バスケットボール大会 協賛

6月24日 東京片貝会総会出席

7月3日 同窓会役員会議

7月27日 同窓会役員会

8月7日 同窓会総務委員会

8月10日 片貝まつり玉送り行事今後の取組みについて  
体調管理についての講演 根本先生

8月16日 第55回同窓会球技大会

バスケットボールの部…優勝  
一般

バレーボールの部…優勝  
一般

8月31日、9月1日



卒業生木遣指導



同窓会入会式



同窓会球技大会



町民駅伝同級会の部優勝 恒暉会



片貝まつり 各厄年、記念行事、事務所挨拶

10月12日 東京片貝会教育講演会

講師…安達 勝己警部補（恒友会）  
演題…「私が選んだ道」

11月10、11日 中学校近県バレーボール大会

11月11日 町民駅伝大会

同級会の部優勝…恒暉会

11月22日 同窓会会報「窓友」編集会議

反省会

10月21日 町民運動会

10月28日 同窓会総会、第22回

同窓祭

11月10、11日 中学校近県バレーボール大会

11月11日 町民駅伝大会

同級会の部優勝…恒暉会

11月22日 同窓会会報「窓友」編集会議



## 大会新記録

片貝中学校特設駅伝部  
キャプテン 高橋 幸樹

十一月十一日に、町民駅伝大会が行われました。そこで特設駅伝部が見事、大会新記録を出し優勝することができました。夏休み前から四ヶ月間、練習を頑張ってきた成果を十二分に発揮できたからだと思います。この大会で特設駅伝部としては、最後でした。最後の大会を『有終の美』で締めくくることができましたので本当によかったです。